

高岡市立西条小学校



閉校記念誌





西条の子 石碑



校歌 石碑

校歌

作詞 中山 輝
作曲 室崎 琴月

一、遠くに光る 立山や

近くにさえる 二上に

かがやくひとみ わく力

そうだ仲よく 学ぼうよ

二、さやかに歌う 千保川

流れもつきぬ 小矢部川

眺めてみがく 身と心

そうだ素直に 励もうよ

三、農工商の 花さいて

小鳩がかける この園に

あふれる光 呼ぶ希望

そうだ元気で 伸びようよ



校旗



校章

～閉校に寄せて～



高岡市長
角田 悠紀

高岡市立西条小学校の閉校に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

西条小学校は、その前身である「射水郡横田村横田小学校（第12中学6番小学校）」として、明治7年に開校されました。

校区には、高岡鋳物発祥の地であり、重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けた「金屋町」があり、毎年6月には「御印祭」が開催され、前夜祭には「弥栄節町流し」が行われております。また、本市の伝統産業である銅器やアルミ産業、製造業等が盛んで、藩政期以来の長い歴史の中で受け継がれてきた「ものづくりの技と心」が、今なお脈々と受け継がれており、古くから本市の発展を支えた地域であります。

西条小学校は、歴代校長先生をはじめ、教職員、保護者の皆様の並々ならぬご努力はもとより、地域の皆様の長年にわたる温かいご支援のもと、輝かしい歴史と伝統を築き上げ、本市のみならず、全国各地に有為な人材を輩出してこられました。関係の皆様方の一方ならぬご尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表する次第です。

さて、教育の目的である知徳体のバランスがとれた人間形成には、様々な個性を有する子どもたちが互いの考えを交流したり、ときには競い合ったりする中で共に成長できる環境づくりが必要となります。西条地区の皆様におかれましては、未来を担う子どもたちのことを第一に考え、再編統合についてご理解を賜りますとともに、よりよい教育環境を創るために熱心な議論を重ねていただきました。西条小学校は閉校しますが、これまで築き上げられた校風と伝統は、新しく誕生する高岡西部小学校に、連続と受け継がれていくことと確信しております。

終わりに、これまでお寄せいただきました温かいご支援ご協力に改めて感謝申し上げますとともに、西条地区の益々のご繁栄を心から祈念いたしまして、ご挨拶といたします。



高岡市教育委員会
教育長
近藤 智久

西条小学校は、明治7年、射水郡横田村浄源寺を仮校舎に開校されてから幾多の変遷を経て、今日まで149年の長い歴史を刻んでこられました。この間、1万2千余名の卒業生がこの学び舎を巣立ち、国内外の様々な分野で活躍され、地域の発展に貢献しておられます。

西条地区には、重要伝統的建造物群保存地区に指定された高岡鋳物の発祥地である「金屋町」があり、現在も千本格子と呼ばれるさまのこが特徴的な町家残り、高岡らしい情緒ある風情を醸し出しています。このほかにも、歴史・文化資産やものづくりの伝統が息づいており、歴史都市・高岡を代表する地区であります。

このような地域の特色を生かし、西条小学校では、学校教育目標「ふるさとへの愛着と誇り」をもち、未来を創造する子供の育成のもと、全校児童による「弥栄節踊り」の伝承や「御印祭前夜祭町流し」への参加、また、ものづくり・デザイン科では、校区在住の職人さんから直接指導を受け、工房で鋳込み体験を行うなど、地域の資源を生かした体験的な教育活動を展開してこられました。

これら数々の実践と成果は、歴代の校長先生や教職員の方々、保護者をはじめ関係の皆様のご長きに渡るご尽力の賜であり、深く敬意を表する次第であります。豊かな関わりを通して心と体を磨き上げ、互いを尊重し、助け合いながら力強く歩んできた西条の子どもたちの精神は、高岡西部小学校に引き継がれ、輝かしい発展を遂げていくものと確信しています。

結びに、長年にわたり賜りましたご高配に、心から感謝申し上げますとともに、西条地区の皆様のごますますのご隆盛並びに関係各位のご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶といたします。



西条校下連合自治会
会長

藤田 晴久



西条小学校同窓会
会長

串田 幹夫

西条小学校閉校記念誌発刊にあたり一言ご挨拶申し上げます。

西条小学校は、明治7年5月1日（西暦1874年）射水郡横田村の「横田小学校」として創校、その後、学校名や立地場所、校舎の改築など幾多の変遷を経て、昭和22年に『西条小学校』となり今日を迎えております。今年度で創立149年目を迎える長い歴史と伝統ある小学校です。（『西条のあゆみ』昭和57年西条小学校百周年記念事業協賛会発行 参照）

地域にお住まいの多くの方がこの学び舎を巣立って行かれたことと存じます。数多くの卒業生の中には、富山県や日本、あるいは世界の様々な分野で活躍されている方もおられると思います。

小学校は人生で初めて本格的な教育を受ける場であり、親しい友達との出会いもあるなど忘れがたい思い出の場でもあります。児童の皆さん、地域の皆様には、学校生活での数々の思い出が沢山あると思います。閉校を迎えることは残念と思う人もあるでしょう。西条小学校の長い歴史を思うと感慨深いものがあります。

4月には横田・西条・川原の3小学校が統合し新たに高岡西部小学校としてスタートいたしますが、時代の変化に的確に対応していると思えば、明るい未来に繋がるものと思います。

地域に住まいする私達は、西条小学校閉校の歴史の証人として、統合して良かったと語り継ぐことが出来るような地域活動に取り組むことを決意し、閉校に寄せることばといたします。

高岡市立西条小学校の閉校にあたり、これまでご支援いただいた皆様に対し、同窓会を代表して心から感謝申し上げます。

私が同窓会会長をお引き受けしてから10年近くになりますが、その間たくさんの1年生が入学し、大勢の卒業生を見送ってきました。西条小学校の同窓会の会員は今年の6年生が同窓会に入会されて、12,000人を超えることが分かりました。

今年の3月で西条小学校は149年の永い歴史に幕を下ろし、4月から高岡市立高岡西部小学校になるわけですが、今年の6年生（45人）は、西条小学校での最後の卒業生となり、最後の同窓会の会員となりました。今年の6年生は少しさみしい反面、自分たちは西条小学校の最後の卒業生として、すごく思い出の深い卒業式になったことでしょう。

また、在校生である1年生から5年生の皆さんは、横田・川原の各小学校が統合され、4月から高岡西部小学校に通うこととなります。そして1年後には、今の5年生が卒業するときは、自分たちが高岡西部小学校の最初の卒業生として、また高岡西部小学校同窓会の最初の会員となります。

新しく高岡市立高岡西部小学校ができることに、とてもワクワクしていますし、そんな節目の時代に私たちが関わっていることに、とても感動しています。

高岡西部小学校がすばらしい小学校になる様に、また同校の同窓会に対しお手伝いしていければと思っています。



ふるさとへの愛着と 誇りをもって

校長
津田 久

本校は、明治7年、横田村浄源寺を仮校舎に開校されてから149年、幾多の変遷を経て、令和6年3月をもって閉校します。

本校の校区には、高岡鑄物発祥の地であり、重要伝統的建造物群保存地区の選定も受けた金屋町があります。また、校歌の一節には「農工商の花さいて」と謳われており、校区は、本市の伝統産業である銅器やアルミ産業等の盛んな地域、国道沿いを中心とした商業地域、さらには農業が盛んな田園地帯が併存しています。このように、歴史や伝統、文化、産業、そして、それを支える人々など、魅力にあふれた地域です。

本校では、このような校区の特色ある資源を生かし、ふるさとを学びのフィールドとして、自分の足で歩き、実際に見たり聞いたり、触れ合ったり体験したりする教育活動に力を入れて取り組んできました。生活科での「まちたんけん」、社会科や総合的な学習の時間での「地域学習」、ものづくり・デザイン科での「鑄物の風鈴づくり」、さらには、「弥栄節踊りの伝承」など、様々な活動を通して、ふるさとへの愛着と誇りを育んできました。このような充実した活動が実現できたのも、地域の皆様や保護者の皆様のご理解とご協力のお陰と感謝の気持ちでいっぱいです。

4月には、横田小学校、川原小学校と統合し、高岡西部小学校が開校します。自分たちが住む地域への愛着と誇りは、他の地域を尊重する心にもつながります。新たな学校づくりは新たな地域づくりでもあります。子供たちには、ふるさとへの愛着と誇りを一段とをもって、誰もが幸せに暮らせる未来のふるさとづくりの担い手として大いに活躍してくれることを期待しています。

終わりにになりましたが、これまで西条小学校を支えていただきました皆様方に改めて感謝申し上げます、閉校にあたってのご挨拶とさせていただきます。



歴史と伝統の継承 ～新たな歴史の始まり～

PTA会長
利木 晶

この記念誌をご覧の皆様にとって西条小学校とはどんな学校だったのでしょうか？私は、閉校を迎えるこの年にPTA会長を務めたことで、子供の時に在校生として感じた「温かい地域に支えられた温かい学校」というイメージが、より確信的なものへと変わりました。これほどまでに地域に愛され、地域と共に成長してきた学校は、ひと握りだと思っています。149年もの長きにわたり愛されてきた西条小学校が閉校を迎えるという事は、淋しさと共に残念さを感じる方が多いのは事実でしょう。

しかしながら、この西条校区には新たに統合された高岡西部小学校が誕生し、横田小学校、川原小学校の児童たちと共に、次の歴史を刻み始めます。たくさんの希望に満ちた児童たちが溢れ、より活発で活気のある学校が誕生することは間違いありません。子供たちは統合した新しい小学校でより明るく楽しい、そして充実した学校生活を送ることができるでしょう。

「農工商の花さいて」これは校歌の一節ですが、この校区は歴史と文化、農業、工業、商業のすべてが花開く、他にはない特別な校区でもあります。次の時代を担う子供たちが新しい環境でより一層成長し、この地域と小学校が共に発達していくことを願っています。

最後に、歴代PTA、教職員の皆さんをはじめ、児童たちをこれまでずっと見守り続けてくださった地域の皆様に対し厚く御礼を申し上げるとともに、新たにスタートする高岡西部小学校の児童たちに更なるご厚情を賜ります事をお願い申し上げます。

ありがとう 西条小学校

目次

寄稿	3
西条小学校沿革史	7
校外の風景	9
校内見取図	10
校内メモリアル	11
児童作品	13
追憶の記録	15
歴代校長	17
西条小学校の年間行事	19
伝統の教育活動	24
歴代PTA会長	25
PTA活動	27
閉校アトラクション	31
閉校セレモニー	33
クラス作文	35
あとがき	59

西条小学校沿革史

- 明治**
- 7 ● 横田小学校として浄源寺を仮校舎に開校
 - 20 ● 愛日(尋常)、横田(簡易)、尚徳(高等)に分離
 - 21 ● 愛日小学校を宗泉寺へ簡易小学校を長楽寺へ移転
 - 24 ● 宗泉寺金堂焼失により堀二作宅へ移転
 - 28 ● 横田西条組合小学校と改称
 - 35 ● 校舎新築(現在地)
 - 42 ● 校章、校歌制定

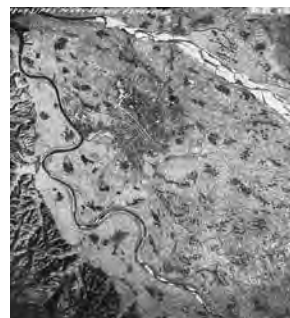


- 大正**
- 3 ● 射水郡横田西条尋常高等小学校と改称
 - 15 ● 運動場拡張

- 昭和**
- 3 ● 高岡市へ編入
 - 4 ● 横田西条尋常小学校となる
 - 11 ● 高等科併設、横田西条尋常高等小学校となる
 - 16 ● 国民学校令公布により西条国民学校と改称
 - 22 ● 高岡市立西条小学校と改称
 - 25 ● 前校舎増改築
 - 26 ● 創立50周年記念式典挙行(現在地設置より)
 - 30 ● 後校舎増改築、(校旗樹立・新校歌制定)
 - 37 ● 創立80周年記念式典挙行



昭和22年



昭和22年 高岡市全市

- 放送室を新設
- 39 ● 給食室改築
- 43 ● 地下道完成・プール完成
- 45 ● 校内テレビ放送施設設置
- 46 ● 特別、普通5教室増築
- 47 ● 創立90周年記念式典挙行
統計教育研究発表会
- 53 ● 校舎増改築第1期工事完了
- 54 ● 校舎増改築第2期工事完了
- 55 ● 校舎増改築第3期工事完了、完工式
- 57 ● 創立100周年記念式典挙行
- 58 ● 学校給食研究発表会
学校給食優良学校文部大臣表彰
- 60 ● 市ボランティア活動事業協力校
富山県よい歯のモデル校表彰
- 61 ● 全日本よい歯の学校優良校表彰
- 62 ● 県西部小教研算数科研究発表
- 63 ● 運動場拡張工事完了・相撲場新設



昭和47年



昭和53年～55年 増築改築



昭和57年 創立100周年



昭和57年 校区全体

- 平成**
- 2 ● 高岡市学校給食研究委託
体育館床張り替え工事
 - 3 ● 県よい歯の学校表彰

- 平成 4 ● N I E研究発表会
- 5 ● 全国小中学校環境教育賞優秀賞受賞
- 6 ● 創立120周年記念式典挙行
- 7 ● 県西部小教研理科研究発表
- 8 ● コンピュータ室設置
- 9 ● グラウンド拡張(約100坪)
- 10 ● 県学童・生徒ボランティア活動普及事業(H10~12)
優良PTA文部大臣表彰
- 12 ● 統計教育文部大臣表彰
- 13 ● 西条小学校少年消防クラブの青少年育成
富山県民会議表彰
- 14 ● グラウンド拡張・イントラネット整備
- 15 ● 学力向上フロンティアスクール文部科学省・高岡市指定(H15、16)
- 16 ● 創立130周年記念式典挙行
ジャングルジム設置、校旗新調
- 17 ● 「ものづくり・デザイン科」創設に向けての研究発表会
プール移築工事完了
- 18 ● プール竣工式
西条しろぼと交通少年団結成
- 19 ● 心の教室相談員推進事業
第20回大谷科学賞受賞
- 20 ● 第43回交通安全こども自転車富山県大会 第2位
- 21 ● 県土美化推進功労知事表彰
- 22 ● 県西部小教研生活科研究指定(初年度)
どろんこ広場造成
白ばとチャレンジキャンプでトライ実施
- 23 ● 県西部小教研生活科研究指定(2年度)
- 24 ● 体育館・旧館の耐震補強工事
道路美化清掃国土交通大臣表彰
- 25 ● 本館の耐震補強工事
- 26 ● 創立140周年記念式典挙行
- 27 ● 体育館の天井板改修工事
土曜学習推進事業モデル校(H27~)
エコ・チャレンジ応援プロジェクト参加校(H27~)
- 28 ● 北陸原子力懇談会最優秀学校賞
- 29 ● 秋季理科教育研究大会
- 30 ● 環境保全功労者等環境大臣表彰(PTA)



平成元年



平成6年



平成10年 優良PTA文部大臣表彰受賞



平成17~18年 プール改築 竣工式



平成26年 創立140周年



創立140周年記念
学校マスコット
ホワイトポツポちゃん誕生



平成30年
環境保全功労者等環境大臣表彰受賞

- 令和 2 ● 県西部小教研国語科研究指定(初年度)
- 3 ● 県西部小教研国語科研究指定(2年度)
- 5 ● 閉校(令和6年3月31日)

校外の風景



校舎外観



校門



堀二作翁の像



伸びる子



二宮金次郎像



地下道

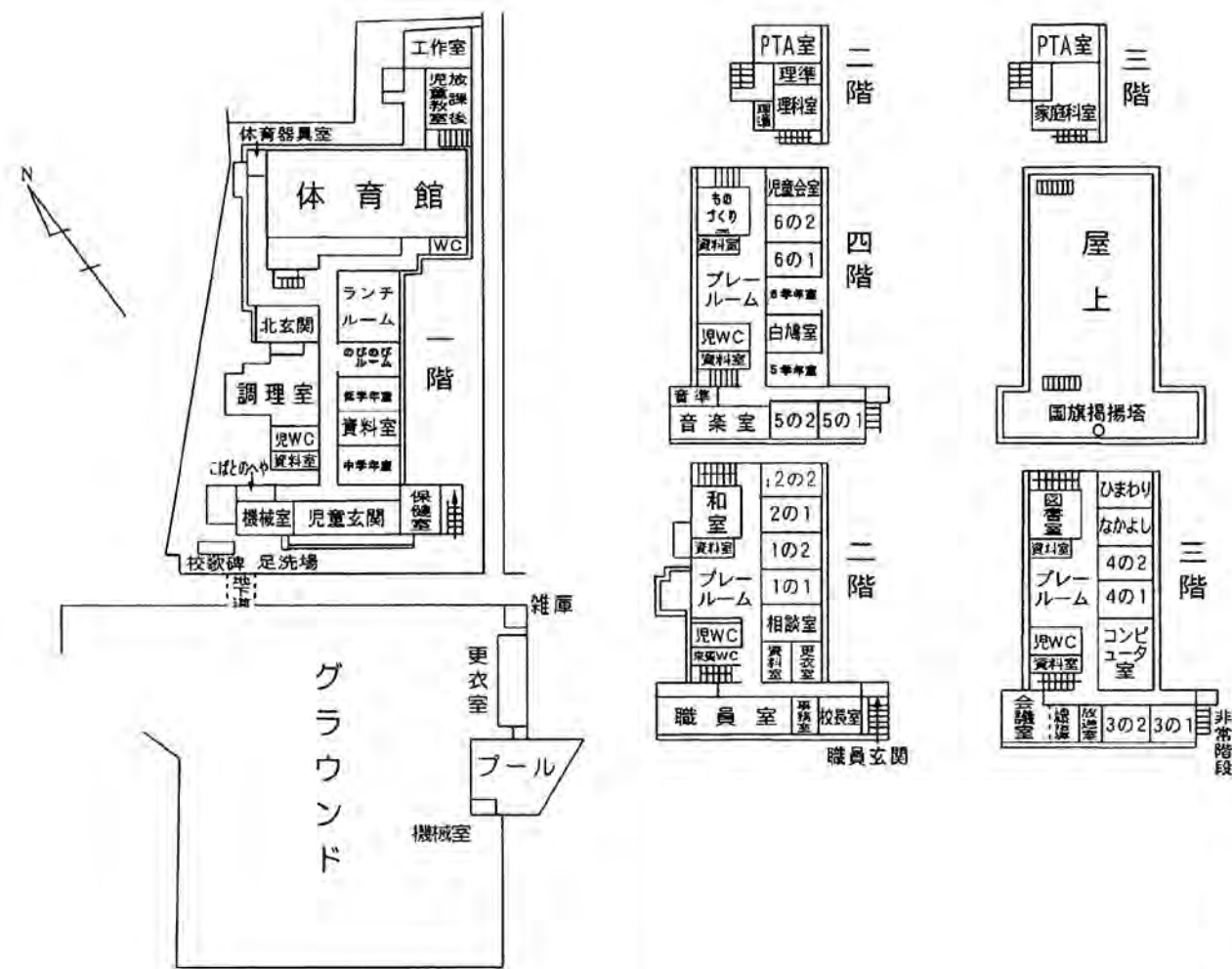


校舎とグラウンドの間に道路がある珍しいつくり



児童玄関からの風景

校内見取図



学校教育目標

ふるさとへの愛着と誇りをもち、
未来を創造する子供の育成

西条小学校 校内メモリアル

児童玄関



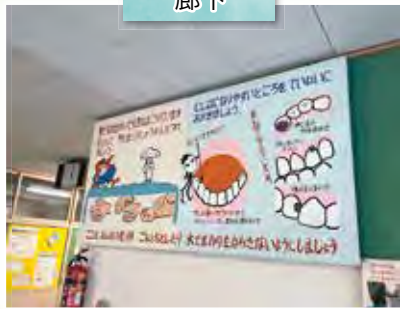
階段



職員玄関



廊下



教室





理科室



音楽室



図書室



和室



ランチルーム



プレイルーム



体育館



兒童作品

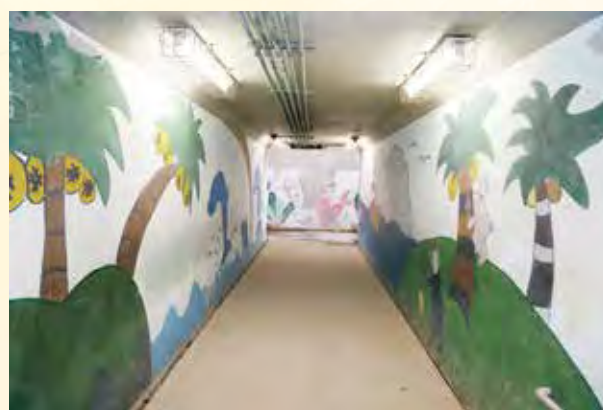




創立140周年記念で児童がデザインした学校のマスコット ホワイトポツポちゃん



地下道へのペイント



旧プールへのペイント

追憶の記録



昭和54年 プレハブ教室を後ろに



昭和55年 新校舎完工記念式



昭和55年 児童式典参加 (6年生のみ参加)



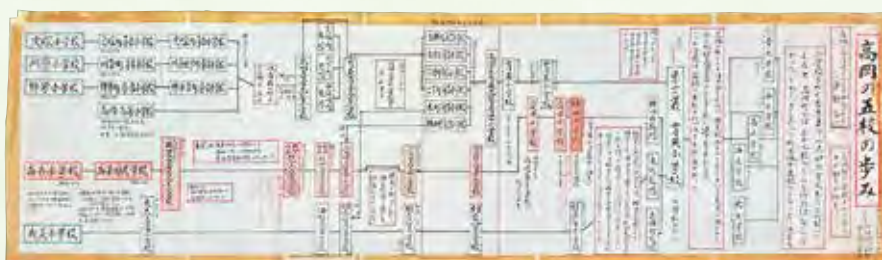
学校祭



プール清掃



BFC編成式





すもう大会



運動会



昭和57年 100周年記念 パレード

西条小学校百周年讃歌

- 一、小矢部千保にかこまれて
久しき流れ 範として
西条の丘に 制を建て
いま百歳の 花開く
誉れも高き 西条校
- 二、遠くにそびえる 立山や
近くにはえる 二上を
眺めて心の 糧として
いま百歳の 実を結ぶ
誉れも高き 西条校
- 三、小鳩がとびかう 学舎に
やさしき心 育ないつ
輝く歴史 受け継ぎて
いま百歳の 光満つ
誉れも高き 西条校



昭和63年 さいじょうの輪



平成6年 120周年記念 鼓笛隊

歴代校長



塩崎 重一

(明治23年1月~30年12月)



車 素

(明治33年5月~37年4月)



舟崎 作次郎

(明治38年4月~明治38年度)



松林 弥八郎

(明治39年度~41年12月)



米森 茂

(明治41年12月~44年度)



中林 武夫

(明治45年度~大正6年10月)



伊藤 智眼

(大正6年10月~昭和3年度)



大矢 慎一

(昭和4年度~5年度)



大松 文蔵

(昭和6年度~12年8月)



山谷 太作

(昭和12年8月~16年度)



宮嶋 伊重

(昭和17年度~19年5月)



坂田 義道

(昭和19年6月~21年度)



宇於崎 周三

(昭和22年度)



遊田 董一

(昭和23年度~27年度)



宮崎 恒信

(昭和28年度)



西田 敏信

(昭和29年度~33年度)



島田 喜一郎

(昭和34年度~37年度)



朴木 俊次

(昭和38年度)



柳川 喜作

(昭和39年度~41年度)



田中 信之

(昭和42年度~43年度)



野村 庄一

(昭和44年度~46年度)



稲原 行雄
(昭和47年度~49年度)



白銀 明
(昭和50年度~53年度)



吉田 博盛
(昭和54年度~55年度)



筏井 菊太郎
(昭和56年度~57年度)



水野 友行
(昭和58年度~59年度)



早川 敬二
(昭和60年度~61年度)



日尾 清作
(昭和62年度~平成元年度)



江守 千秋
(平成2年度~5年度)



小林 清治
(平成6年度~7年度)



里 幸夫
(平成8年度~9年度)



大西 正芳
(平成10年度~11年度)



中田 肇
(平成12年度~14年度)



藤井 秀盛
(平成15年度~17年度)



野原 一慶
(平成18年度~20年度)



山崎 俊明
(平成21年度~22年度)



長沼 克也
(平成23年度~25年度)



田中 広光
(平成26年度~28年度)



大門 信吉
(平成29年度~30年度)



向井 康之
(平成31年度~令和2年度)



津田 久
(令和3年度~5年度)